

亀山市名誉市民 彫刻家 中村晋也さん制作

新たな亀山駅前シンボル

「日本武尊 弟橘媛 愛うるはし」

令和5年1月、JR亀山駅前広場に、亀山市名誉市民で文化勲章受章者の彫刻家 中村晋也さんが制作された「ヤマトタケル・オトタチバナヒメ」の銅像が建立されました。

今回は、新たな亀山駅前シンボルとなった銅像と、制作者で名誉市民の中村晋也さんについてご紹介します。

問合せ

<銅像に関すること> 文化課文化創造グループ (☎96-1223)
<名誉市民に関すること> 広報秘書課秘書グループ (☎84-5022)

日本武尊と弟橘媛 ゆかりの地 亀山

やまとたけるのみこと

日本武尊は、「古事記」「日本書紀」に記された英雄で、父である第12代景行天皇の命を受け西へ東へと転戦し、過酷な旅のすえ大和への帰路 伊勢国能褒野(現在の亀山市田村町)で力尽き亡くなったその地に墓が築かれたとされています。

おとたちばなひめ

おしやまのすくね

日本武尊の妻 弟橘媛は、忍山神宮(現在の忍山神社)の祀官 忍山宿禰のむすめとしてこの地で生まれ、日本武尊の旅に付き従い馳水の海を渡る際、荒れ狂う波を鎮めるために海に身を投げ、日本武尊の命を救ったとされています。

はしりみず

いにしえより二人の永遠の愛の物語が今なお語り継がれる亀山の地は日本武尊と弟橘媛に由縁の深い地です。

(銅像碑文より引用)

銅像の制作・寄贈

「ヤマトタケル・オトタチバナヒメ銅像建立実行委員会」は、市内能褒野の地に御墓があり、古事記・日本書紀の英雄伝説で有名な「ヤマトタケル」、その妃である「オトタチバナヒメ」の銅像を建立し、壮大な歴史ロマンを顕彰することを目的に、平成27年9月から活動を積み重ねられ、1月26日に開かれた除幕式にて、同会より市へ銅像を寄贈いただきました。

きごう

また、銅像台座には、市内在住の書家 安藤清舟さんに揮毫いただいた「日本武尊 弟橘媛 愛うるはし」の文字が刻まれています。



日本武尊(左)・弟橘媛(右)

【設置場所】JR亀山駅前広場

【高さ】約4.7m(銅像本体 約2.4m)

「ヤマトタケル・オトタチバナヒメ」の銅像建立にあたって



お陰をもちまして、このたび、市の玄関口であるJR亀山駅前広場に銅像建立の運びとなりましたが、これもひとえに、ご協賛いただいた皆様の絶大なるご厚意の賜物と心より感謝申し上げます。また、銅像制作者であり文化勲章受章者、そして亀山市名誉市民である彫刻家の中村晋也先生に深甚なる感謝の意を表します。

「日本武尊 弟橘媛 愛うるはし」と銘した本銅像建立にあたっては、この地が紡いだ壮大な歴史ロマンの顕彰とともに、未来を担う子どもたちの夢と創造の土壌育成の願いが込められております。これを契機として、亀山市の発展につながることを願ってやみません。

ヤマトタケル・オトタチバナヒメ銅像建立実行委員会 会長 岩佐 憲治さん



■ 亀山市名誉市民 中村晋也さん 略歴

1926(大正15)年	7月29日 三重県に生まれる
1928(昭和3)年 }	2歳から22歳まで三重県鈴鹿郡井田川村(現:亀山市)に在住 井田川尋常高等小学校(現:井田川小学校)、旧制神戸中学校 (現:神戸高等学校)卒業
1948(昭和23)年	東京高等師範学校(現:筑波大学)卒業、鹿児島師範学校文部 教官兼鹿児島大学講師となる
1950(昭和25)年	第6回日展に「首」初入選
1966(昭和41)年	フランスに留学、アベル・フェノサに師事(1967年まで)
1969(昭和44)年	文部省在外研究員として1年間フランス留学、 再度アベル・フェノサに師事する
1972(昭和47)年	鹿児島大学教授となる
1979(昭和54)年	鹿児島市甲突河畔に「大久保利通公」像を建立
1982(昭和57)年	鹿児島市鹿児島中央駅前広場に「若き薩摩の群像」を建立
1992(平成4)年	鹿児島大学名誉教授となる
2003(平成15)年	奈良市薬師寺大講堂に「釈迦十大弟子像」を奉納
2007(平成19)年	文化勲章受章
2010(平成22)年	亀山市より名誉市民の称号を授与される 亀山市に「わたしの宝物」(亀山市文化会館に設置)、 「キャンドルの祭り」を寄贈
2015(平成27)年	奈良市薬師寺西塔に「釈迦八相像」(果相)を奉納
2022(令和4)年	奈良市薬師寺東塔に「釈迦八相像」(因相)を入仏
2023(令和5)年	亀山駅前広場に「日本武尊 弟橘媛 愛うるはし」を建立

「愛うるはし」に寄せて

これがあの亀山駅前か？ 立派な図書館が建って、今も元気に時を刻む故郷を見るのは嬉しい。私が育った頃と様相は変わっても、ふるさとの山、風のおい、人々の話し言葉はいつまでも変わらず私を迎えてくれます。

このたび、この地ゆかりの「日本武尊」と「弟橘媛」の像「愛うるはし」の制作を終えて、ようやく私の心につかえていたものが取れたような気がします。育ててくれた父母のこと、学友たちのこと、この地を離れて過ごした長い年月の間に、ふとよぎる郷愁の思いは、老境に入って一段と強くなっていました。今、こうして作品がここに建ってみると、像と共に自分もまた故郷に分身を預けて、一緒に故郷の行く末を見守っているような気持ちになっています。不思議なものです。

日本の輝かしい未来を夢みて、明日への道を指差して進む日本武尊と、その思いを共に分かちあう弟橘媛との「愛うるはし」像は、私が故郷亀山の益々の発展と人々の幸せを願う気持ちを託して制作したものです。これでようやく故郷への恩返しができたような気がして、晴れ晴れとした気持ちで、また新たな制作に励めます。96歳まだまだ現役を続けます。

中村晋也

中村晋也さんの作品にふれる

※ほかにも県内では、パラミタミュージアム(菰野町)や鈴鹿市役所などでも作品をご鑑賞いただけます。

市立図書館1階 文化情報プラザ

本市ゆかりの文化人と関連書籍等を市立図書館で紹介しています。中村晋也さんの作品制作風景や、ご家族と過ごされる様子などを動画で紹介するほか、館内では中村さんの作品集など関連書籍を紹介するコーナーを設けています。



市文化会館1階 ロビー「わたしの宝物」

平成22年10月に中村晋也さんから寄贈を受けた銅像「わたしの宝物」が市文化会館に設置されています。平成7年に制作された秘蔵の作品で、市文化会館を訪れる多くの人の心をやさしく包み込んでいます。



亀山市美術展(市展) 特別展示

第18回亀山市美術展に中村晋也さんの作品を特別展示します。今回は、平成7年に発生した阪神淡路大震災被災者鎮魂のために制作を始められた「ミゼレーレ」シリーズから1体を展示する予定です。中村さんの作品を身近に見ることができ、ぜひご鑑賞ください。

【第18回亀山市美術展】

と き 3月13日(月)～19日(日)
午前10時～午後5時
(※最終日は、午後3時まで)
ところ 市文化会館
中央コミュニティセンター

